

すそみろく

筑波山の山麓一帯を「すそみ」と名づけました

第14号 (平成22年1月1日)

発行・すそみろく編集委員会

TEL029-866-1122 (田井の里地域づくり愛好会・森田)
TEL029-863-5151 (NPO 法人つくば環境フォーラム・田中)



謹賀新年
皆様の「ご繁栄を」祈念
申し上げます。
筑波山神社宮司 田中泰一
029-866-10502

霊峰筑波山より
世界平和を
祈念致します。
筑波山大御堂
029-866-10126

空は雲がほつかり、ぼつかり浮かんでいます
ときには、子犬がじゃれあっているように
まご様々生き物を背景空に映し出されているよ
うで、時間のたのむ忘れ引き込まれていきます
田井小学校校長
松崎恵美子

田井地区の皆様のお
お仕合せを祈ります。
井坂敦實(北条)

筑波山 今日も明日も 元気で
筑波山 四季をとおして 魅力的
齋藤靖夫(筑波)

神郡区長 飯田信義

六所区長 森田源美

漆所区長 杉田進一

すそみの田井で
観峯虚心
神郡山房主人(神郡)

謹賀新年

そば丸忠 飯田忠
029-8667-0581

自然豊かな筑波山麓で、
谷津田の米づくり、里山
の森づくり、
ぜひ、「二緒に」!
NPO 法人つくば環境フォーラム

館区長 櫻井登

小沢区長 沼尻正一

すそみは
常陸の国の宝です
飯田猷子(館)

謹賀新年

筑波山麓自然卵
みたらい農園
029-866-11238

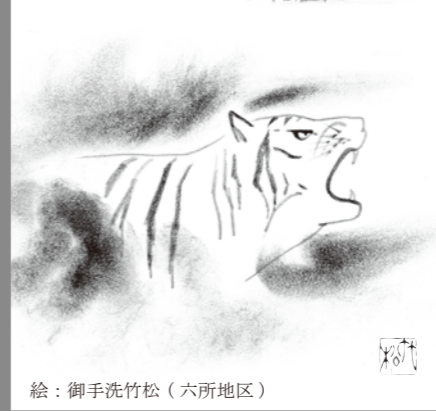
迎春

いつも「すそみろく」
応援しています
小田切マリ(つくば市東)

明けまして

おめでと

ございます



絵：御手洗竹松(六所地区)

謹賀新年

なばや商店(神郡)
029-8667-0329

筑波大学教授 出口正義

謹賀新年

鮭川隆雄(白井)

自然生クラブ20周年を迎えます。
多くの人に支えられてきたことを
心から感謝申し上げます。
自然生クラブ二同

今年も福来みかんで
おいしいものを
作りましょう
上野節子(小沢)

筑波山は日本一の
山なのです!
(株)中野
029-8664-4546

舞ひ終へて
深き一礼山眠る
(有)結エディット
029-869-5550

小祝正明(六所)

今年も「すそみ」が元気に
なるような話題を探して
発信します。
どうぞよろしく!
すそみろく編集委員会同
デザイナー・小沢陽子(漆所地区)

躍進の2022年「すそみ」の元気への「今年も」ついでに!!

筑波山麓の地域活性化を合い言葉に始まった地域情報紙「すそみろく」も本年で4年目。白滝道や六所神社跡の整備、筑波山麓秋祭りでのイベント開催と、きれいに、「元気になっていく」「すそみ」を実感できることが編集スタッフの何よりの喜びです。本年もどつで、どつしよに、よろしくお願いいたします。

新「六所の家」

「六所の家」の新しいオーナーとなった小倉さんを訪ねました。
「六所の家」はすそみろく第3号やつくばスタイルで紹介された茅葺き屋根の古民家ですが、小倉さんの手によって、さらに整備が進み、最近「美六山荘」という名もつけました。
小倉さんは、東京生まれの川崎市柿生育ち。



さらに美しくなった「六所の家」

現在は、十五穀米の総販売元の(有)タミノ、コンサートや講演会などを企画する(株)ゴールデンクロスなどを経営し、日本だいじょうぶ普及協会の理事長でもあります。
前の所有者、故入澤美時さんの親族の紹介で「六所の家」を知り、素晴らしい自然環境と茅葺き屋根の古民家に魅せられ購入しました。その後「六所の家」の家の近くに六所神社跡地があることを知り、そこは歴史のある神々しい世界であると思ひ、とても責任を感じているとのことでした。

ピアニストの後藤泉さん、小澤征爾さんに見出された二胡の名手ジャン・ジェン・ホウさんなどを応援して、「六所の家」で地域の人々にも紹介しています。
今後は、ここを地域の人々のお役に立つ場所にしていきたいとおっしゃっております。

榎田智司(六所地区)

六所秋祭り

11月23日、田井の里の秋祭り最終日は、六所大神宮跡を中心に行われました。まずびつくりしたことは六所大神宮跡は地域の人々の協力です



天女の舞と、それを見つめる観客

羽根つき大会に参加した子どもたち

竹灯りで照らされた境内

「筑波山麓秋祭り」をふりかえって



昨年の「筑波山麓秋祭り」も盛大に行われました。注目の「そば畑の花見茶屋」ではハブニングもありましたが、おいしいメニューが大評判。筑波山麓オーケストラのデビュー、開催場所を移した瓦灯りは新たな魅力発見。さらに一歩前進しました。以下、参加者からのコメントです。

開店そば畑の花見茶屋が大盛況！

11月7、8日の両日は、小春日和のお天気にも恵まれ、「すそみろく編集部」のスタッフ、つくば環境フォーラムによる「そば畑の花見茶



福来みかみずで屋台を飾りました



筑波山を一望する絶好の場所でした

屋」がオープンした。

当初の計画は、澄みきった秋空の下、筑波山は紅葉で赤く燃え、すそ野は見渡す限り一面のそばの白い花、その真中に青い竹の屋台を置いて茶屋を開く——こんな幻想的な風景を夢見てそばの種まきをしたのだが……。昨年は気候の変動で、そばの花は開花しなかった。それでも私たちは、持ち前の想像力と知恵を駆使し、臼井地区に

あるみかん畑の一角をお借りして「そば畑の花見茶屋」をオープンした。

この茶屋の屋台は、筑波大芸術専門学群4年の片桐春菜さんが卒業製作で作ったもの。片桐さんの竹への思いが詰まっている屋根つきの屋台である。

青竹の香りがただよう屋台の中では、筑波山麓の湧き水で入れたコーヒー、福来みかんの皮を干して作った「福来みかんのクッキー」、梅の実が入ったジュース、そしてすそみの森の間伐材を使ってスモークしたチーズを販売したが、ほとんどがお昼過ぎには売り切れた。隣の大きな鍋では、そばがきの入った「地鶏けんちん汁」、こだわりの「石焼きいも」も人気があり、たくさんの人が喜んでくれた。

今年も新しい風が巻き起こり、楽しいものなることを期待したい。ご協力いただきました地域の方々に参加して下さったみなさまに心よりお礼申し上げます。

上野節子(小沢地区)

新・瓦の灯りプロムナード

過去3年間の反省から改善するべき点は、瓦の間隔を狭くすること、外灯などの灯りが少ない所にするこゝとだった。これらを満たす場所は普門寺の参道しかないということになり、住職さんに相談したところ、快く承諾していただき、2基の水銀灯を消して下さるようになった。

多くの皆さんに見ていただくということ、11月3日から、参道の両側に2・5メートル間隔で瓦を組み立て、150基設置した。

7日の17時に点灯する。暗くなった参道に灯りがくつきりと浮かび上がり、想像以上にすばらしい光景でなっていたこと、灯りの間隔を狭くしたこと、それに、ロウソクを多くしたので、赤みがかったオレンジ色の灯りになり、よりすばらしい効果が演出され、幻想的な感じを醸し出していた。見に来てくださった方々からも、大変良かったという感想をいただいた。

飯田信義(神郡区長)



普門寺の参道を照らした瓦灯り

本人たちが一番楽しんでいた？



夢が実現！筑波山麓オーケストラ 昨年、すそみろくで筑波山麓オーケストラ結成の話を書いたが、本当に実現するとは思わなかった。言葉というものは本当にいるのである。

11月8日、田

井ミュージアムにおいて、筑波山麓オーケストラは何か愉快なほのぼのとした演奏をしたのである。まあ、音楽的にはいろいろと問題はあるが、あんなにう

まく行くとは思わなかった。確かにメンバーは人前に出るのは慣れていない人ばかりなのですが、全員がそろったのは当日、ほぼぶつけ本番であったのであります。それも1週間前に、期待していた2人が出れなくなり、あわててアレンジや曲目を書き直していたりする事象だったのですから。

おじさんらしく緩く、温かみのある演奏を目指していたが、若きギタリストが加わってからは、エネルギーが注入され予想されない盛り上げりまで見せました。

久しぶりに、人間ってというのは、つながりの中で生きているんだとホ

竹が様々な活躍

山の森林整備で出てくる竹の使い道を探すことで、継続的な手入れ活動につながるよう、今回様々な取り組みをしました。茶屋の竹屋台もそのひとつですが、枯竹を燃料にできないかと考え、茶屋で出すコーヒーのお湯やけんちん汁は枯竹で沸かししました。ドラム缶を改良したすばらしい焼きいも器が、にれ工房山崎誠治氏のアイデアで完成しましたので、焼きいもの燃料にも竹を活用。おいしい石焼きいもが焼けて大好評でした。竹は火力が強く温度を上げるのに適していますが、すぐ燃え尽きるので、竹から雑木の薪へとバトントッチし、継続的に温度を保つ方がよいことがわかりました。



那智黒石でおいしそうに焼き上がったさつまいも

自作の焼きいも器を前に準備中の山崎さん

ツトな気持ちになりましたし、無理な頼みを聞いてくれたメンバーやスタッフに本当に感謝感謝でした。来年もやる？えっ、凶に乗るなよ、という声が聞こえますが。

榎田智司(六所地区)

花のボランティアさん募集！

つくば道沿いの家並みにパンジーの花のプランターが置かれていることに気づきましたか？柔らかな日差しに揺れ動く色とりどりの花は、ほんとうに可憐で美しいです。

すそみろく10号で以前紹介した「つくば道に花を植えて続けて10年」の臼井地区、鮎川和行さんの指導のもと、市の事業の一環であるウエルカムフラワーとして、花を育てるボランティアに協力していただいているものです。育てているうちに愛着がわき、自分の家の花が一番という気持ちになるというのは、ボランティアさんの声です。花は春と秋に市から配布されました。つくば道沿いにお住まいの方で、ボランティア希望の方は、区長さんまで声をかけて下さい。

遮那ひろみ(神郡地区)



鮎川さんの車庫で花を仕分けしました

インフォメーション

●筑波山大御堂 世界平和を祈念して皆様も鐘をついてください。

12月31日(木) 21時から除夜の鐘

1月1日(祝) 晨朝護摩

1月18日(月) 初観音縁日 ご来寺になつて世界平和を祈念しましょう

●筑波山神社

1月1日(祝) 3日(日) 初参りの皆様に甘酒のサービスがあります。その日の予定数がなくなり次第終了します

●飯名神社例祭

2月24日(水) 皆様のご多幸を願い福来餅を5回撒きます。(10・11・12・13・14時)

●自然生クラブ20周年記念公演

サーカス&田楽舞

3月14日(日) 14時から市民ホールつくばねにて。ベルギーから知的障害をもつ人たちのサーカスを招きます。自然生クラブの田楽舞とともに楽しんで下さい。

【問】0291-8666-2192

●筑波山麓すそみの森づくり

1月17日(日) 10～15時/参加費700円(温かい汁物付)/雑木林の手入れ。切

た雑木はシイタケのほだ木や薪に活用

3月22日(祝) 10～15時/参加費900円(昼食付)/耕作放棄地への植林・シイ

タケ植菌・子ども向けの森林学習会など

【申・問】NPO法人つくば環境フォーラム

0291-8663-1515



絵・杉田はるか(田井小学校6年)

昨年12月8日、普門寺本堂が焼失しました。地域の貴重な文化財が失われたことが悔やまれます。



竹のベンチづくりの講習風景



自分だけのオリジナルベンチが出来上がっていきます

竹屋台作者の感想

皆さんと楽しく作れてよかったです。これからもっともっと間伐材が利用されていくといいと思います。



片桐春菜(筑波大学4年)

もうひとつの活用は竹のベンチ(縁台)です。秋祭りの講習会には2日間で10組の方が参加、筑波山を眺めながら、製作に挑戦しました。青竹のすがすがしいベンチに大満足！ベンチづくりが縁竹の活用が広がっています。筑波山麓の竹をベンチや垣根へ活用したい方、ご連絡ください。

田中ひとみ(つくば環境フォーラム)